

2006 年度 秋学期のレポート

タイトル: 2006 年 1 学期(8 月 25 日~12 月 15 日)レポート

ファイル名: 名前 春日 幸三 1 学期レポート

【1 学期を振り返って】

今学期は、ギャロデット大学の IIP (International Internship Program) として入学し、特別選択で E L I (English Language Institute) の英語クラスも受講し、午前中は英語、午後は IIP の形で学んで来ました。今学期学んだ事、見て感じた事等をレポートにまとめたいと思います。

まずは、

【生活面】

CARLIN 寮はインターナショナルの学生と、大学院生が暮らしている所です。

私は小さい時から施設で育ちましたので、集団生活や集団行動に対する違和感はありませんでした。

しかし、402号室の中は3部屋に分かれていて、運悪く隣部屋にいたロシア人とトラブルが起き、本当に苦労しました。

ロシアと日本という異文化による行き違いではなく、彼の今までの環境や教育面の何かに問題があった為、一般人と比べて行動が常識の範囲を超えていたのではないかと感じました。

そのロシア人は33歳であり、ギャロデット大学の寮の規定や、注意要綱などの説明も受けていたから、社会人の立場で自覚を持って行動するべきであると私は考え、そのまま黙って耐えているだけでは駄目だと思ったのです。そこでDPSや警察へ通報、また大学内の裁判(調停委員会)へ訴え、最終的に学内における裁判(調停委員会)を開く事になったのです。

この決裁の結果、ロシア人はCARLIN 寮から強制移動命令などの項目が発令されました。

大変な経験ではありましたが、よい勉強になったと思っています。

その後、アラブ首長国連邦(UAE)の人が隣の部屋に引越して来て、今は通常の生活に落ち着きましたが、入寮してから4ヶ月間もトラブルが続いた為、精神的に不安定となり、他人に対する警戒感が強まったままの状態であり、元の明るい自分らしさを取り戻したいと願ってはいるのですが、なかなか苦労しています。

【クラス】

● 午前のE L Iの英語クラスは、

クラスが始まる前に行った能力テスト試験の結果により、100-01Bクラスからのスタートとなりました。

100-01Bクラスは6人、その中に日本人が2人います。

当初、私は他の生徒と比べ年齢が高い為、英語を覚えるのに自信がなく、クラスの皆さんより遅れてしまうのではないかと不安なスタートでしたが、1ヵ月半後にはクラスの中で、日本人の私達2人だけ先に進んでいる状態でした。

これは、英語教師の授業をしっかりと聞き、宿題やミニテストもサボらずにきちんとやった事で、実力を伸ばす事が出来たのであろうと思います。

クラスメイトは、無断欠席を平気でしたり、宿題などもほとんどやらない為、実力に差が出たのでは

ないか?と感じました。

真剣に学ばない学生は、何の為にこの大学に来たのだろうか?と理解できません。

春季クラスからは、私だけ英語100-01Aクラスへ移る予定です。

● 午後のクラスは

インターンシップを受ける前に、入門レベルの知識を取得したいと思い、デフカルチャーと通訳（入門・認識処理技術）指文字クラスとASLクラスを受け、その他に1対1特別学習も含め、6クラスも取ってしまい、英語から日本語への翻訳作業や宿題などもあって、本当に忙しく大変な毎日でした。各教師の方々が、親切に協力して下さったおかげで、無事に学期を終了する事が出来ました。

初めは“よし！挑戦して学んで行こう”と強い気持ちでたくさんの授業を受けたのですが、少し経った頃“大変だー。このクラスは辞退しようかな？”と一時的に考えた事もありました。しかし“今は大変だけれど大切な時期だから、今ここで辞めてしまうと、後できっと後悔するだろう！”と“考え”最後まで諦めないぞ！”と気持ちを立て直し頑張れた事は、本当に良かったと思っています。

秋季の時間割表

9月30日時点

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
8:00	8:00~11:00	8:00~11:00	8:00~11:00	8:00~11:00	8:00~11:00		
8:30	100-B	100-B	100-B	100-B	100-B		
9:00	Engling	Engling	Engling	Engling	Engling	9:00~13:00	
9:30						ASL	
10:00							
10:30							
11:00							
11:30							
12:00							
12:30							
13:00		13:00~14:20		13:00~14:20	13:00~15:00		
13:30	13:30~15:30	INT	13:30~15:30	INT	特別学習		
14:00	INT	101	INT	101			
14:30	724/718	14:30~15:50	724/718	14:30~15:50			
15:00		DST		DST			
15:30		101		101			
16:00			1対1学習				
16:30		16:30~18:00	INT	16:30~18:00			
17:00		Beginning	780	Beginning			
17:30							
18:00		18:00~19:00		18:00~19:00			
18:30		特別学習		特別学習			
19:00							
19:30							

【インターンシップ】

11月18日から19日のPCRID（ワシントンD.C・MD・VA地区）ワークショップに参加しました。

私の分科会は透視画法と、ろう手話通訳と手話通訳/ろう手話通訳の資格についてのコースでした。

ろう通訳者コースは、手話通訳の訓練をした後に、盲ろう手話通訳はどうやって表現するか？課題は何か？など、経験を聞いたり・議論したりしました。

ろう手話通訳者として活動しながら参加している皆さんは、経験が豊かである事を知りました。充実して学ぶ事の出来た2日間でした。

【その他】

ELI 教師の中には、突然欠席したり、遅刻する人も多くいました。私は不思議に思ってクラスメイトに尋ねると“アメリカではこういうものだ”と言われました。

午後のクラスは、ギャロデット大学の通訳・デフスタディなどのクラスでしたが、ここでは教師の遅刻や突然の欠席もなく、日本と同じように社会人として常識通りきちんとしていて、ELI はおかしいなあと疑問を持ちました。

上記に述べたように、英語を含め7クラスも授業を取っている為、ハードなスケジュールであり、休日でもなかなか外出などは出来ませんでしたし、飲み会や外出などに誘われても、ほとんど断ってしまいました。

友人に、付き合いが悪い人だなあと思われたのも事実なので、今後は遊びにも参加出来るように学習計画を立てたいと思っています。

【終わりに～来学期への抱負～】

来学期は、インターンシップを中心に学んで行きたいと考えています。

英語力を現在よりスキルアップし、秋季クラスで受けられなかった科目を来学期は絶対に受けたいと思っています。

また秋季クラスからは学習クラスの数減らして、空いた時間をインターンシップにて色々な事を経験したり学んだりする事も大切にして、来期の目標をしっかりと進めたいと思います。